

# 令和5年度学校評価報告書

令和6年(2024年)3月26日

北海道豊富高等学校長  
青木 広 明

## 1 本年度の重点目標

- (1) 教員、生徒双方で授業改善に取組、主体的・対話的で深い学びへ向かう態度を育てる。
- (2) 自律心・自己有用感を高め、自ら進んで未来を切り開く力を育てる。
- (3) 心身ともに健やかな成長を促し、自他の生命尊重の態度を育てる。
- (4) 「北海道アクション・プラン」を踏まえて、職場環境や働き方の工夫・改善を進める。
- (5) 「部活動に係る活動方針」を踏まえ、適切な部活動指導・運営を図る。
- (6) 異校種や地域の教育力を生かし、スクールミッションの具現化を目指す。
- (7) 異文化理解や多様な価値観に触れる機会をととして、グローバルな感覚を育てる。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	基礎・基本の定着や学習習慣の定着を継続的に図っているが、主体的・協働的で深い学びにつながる授業改善(ICT活用・観点別評価運用・探究活動等)における校内研修・教材研究の必要性、について課題がある。	生徒の基礎的・基本的学習内容の定着に向けた取組や遠隔授業、教員の授業改善、探究活動の取組については一定の評価をいただいているが、ICTをより活用した授業改善を図る必要がある。
改善方策	BYOD3年目を迎えるにあたり、ICTの効果的な活用に向けた校内研修や観点別評価の取組を学校全体で行っていく。	ICTの効果的な活用実践や評価の在り方などについての研修を学校全体で行い、教員間での研鑽に努める。
生徒指導	学校安全、教育相談項目で評価を高く頂いており、スクールカウンセラーや生徒支援委員会、学年との連携をととして、生徒に対する支援をより充実させることができた。今後も連携し、より教育相談体制を整えていく。	学校安全、教育相談、いじめ防止について一定の評価をいただいているが、生徒会活動や部活動、ボランティア活動などの諸活動の充実について課題がある。
改善方策	組織的な生徒支援を次年度も、スクールカウンセラーや生徒支援委員会、保健室、学年と連携して継続する。	地域とのさらなる協働や連携により、様々な諸活動の活性化を図り、生徒の成長につなげられるように工夫・改善を行う。
進路指導	家庭、地域、学校との連携を密にし、生徒個々に応じた進路支援・個別指導を行い成果をあげることができた。今後、探究活動や体験的活動へのより積極的な参加が必要である。	生徒個々に応じた進路指導や進路相談について評価をいただいているが、教科指導力の向上やキャリア教育と探究活動の充実の工夫・改善が求められる。
改善方策	今後も進路情報の共有と探究活動の充実を図り、地域と連携した活動を拡充する。	今までに構築した地域とのつながりを活用しながら地域人材の効果的な活用をととして、より一層生徒個々に応じた進路支援の充実に取り組んでいきたい。